



TITLE:

天象

AUTHOR(S):

CITATION:

天象. 天界 1931, 11(123): 349-351

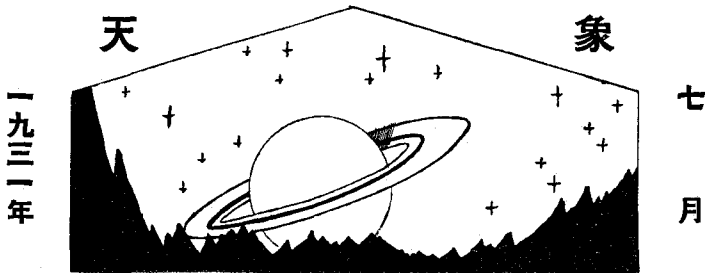
ISSUE DATE:

1931-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161679>

RIGHT:



太陽

日	赤 經	赤 緯	視 直 徑	星 座
(30)	6時32分 6秒	北23度15分	31分31秒	ふ た ご
10	7時13分19秒	北22度23分	31分32秒	ふ た ご
20	7時53分52秒	北20度52分	31分33秒	ふ た ご
30	8時33分30秒	北18度47分	31分34秒	か に

月始めは巨蟹宮に在るが、二十三日から獅子宮に侵入する。日の出は少しづつ遅れて、前月三十日に四時四十六分であつたが、今月十日には四時五十一分、二十日には四時五十七分、三十日には五時五分となる。これと同時に日の入りも次第に早くなり、前月三十日に七時十五分であつたが、今月十日には七時十二分、二十日には七時九分、三十日には七時一分となる。又た朝や夕の薄明の時間は大體一時間四十分程である。

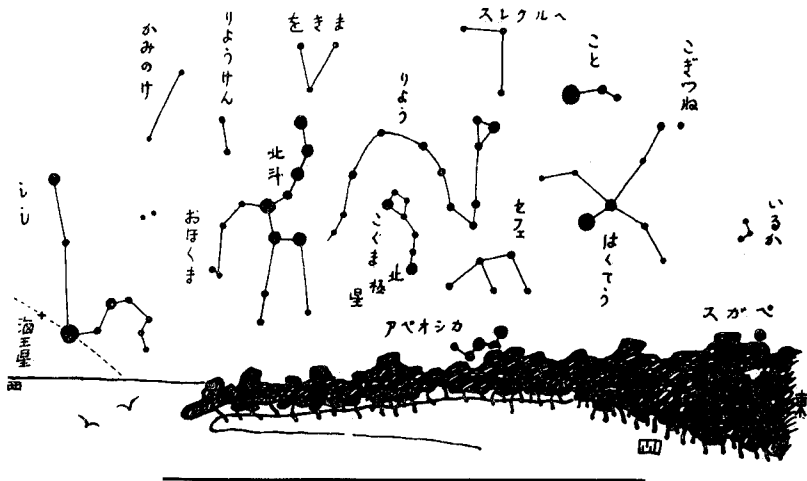
又た、六日には地球は遠日點を通過する。即ち太陽から最も遠去かる時であつて、此の日の太陽視直径は 31分30.7 秒であり實距離は約一億五千二百萬軒となつて、平均距離より約二百五十萬軒遠くなつてゐる。六日以後は少しづつ距離が近づくので、視直径も徐々に増して来る。

月

月の相	時 刻	視直径	星 座
下 弦	8日午前 8時52分	29分39秒	う を
新 月	15日午後 9時20分	32 12	ふ た ご
上 弦	22日午後 2時16分	32 11	を と め
満 月	29日午後 9時47分	30 12	や ぎ
遠地點通過	6日午後11時30分	29 34	う を
近地點通過	18日午後 9時24分	32 41	し し
昇交點通過	8日午前 4時 0分	29 39	う を
降交點通過	21日午前 3時42分	32 25	を と め

月の出は、一日午後八時三十八分、十一日午前零時四十四分、二十一日午前十一時七分、三十一日午後八時十七分。

月の入は、一日午前五時二分、十一日午後三時十七分、二十一日午後十時四十九分、三十一日午前六時十八分。



恒 星 界

夏休みも近づいて、山のキャンプへ、又は海水浴場へ、
 何處へ行つてみても、なつかしく眺められるものは、
 何んと言つても、宵の南天を壓して輝やく、
 「さそり」の雄大な姿が、第一であらう。
 春の星座の「しし」は既に、西の海面に近く、
 これに續いて「おとめ」も亦、地下へといそぐ。
 此等に代つて、今、東半分の天に擴がつてゐるのは、
 親しみ深い夏の星々の集りである。
 七夕でおなじみの、「こと」の織女と「わし」の牽牛とは、
 天の川をはさんで、東の空に高く對峙し。
 其の間には「はくてう」や「いるか」が居並んで、
 愈々、夏になりましたよと言つてゐる。
 北の地平線には、既に「カシオペア」や「ペガス」が、
 顔を出し始めて、やがて、「アンドロメ」の、
 彼の星霧の見え出すのも、そう遠くはない。
 東天の土星は、遊星界の花形である。